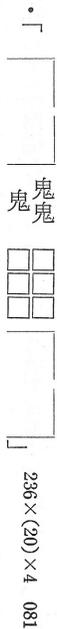


小敷田遺跡（埼玉県行田市）から
最古級の呪符木簡出土

小敷田遺跡は最古級の出挙木簡や「御前」などの書式をもつ文書木簡が出土したことで著名である。今回発掘調査報告書作成にあたって最古級の呪符木簡が見つかったと報告された。年代は七世紀末と八世紀初で、その釈文は次のとおりである。

八号木簡（『木簡研究』七号では(6)としたもの）

「直上壹廿五絞薦八立薦二枚合百廿枚」

「鬼鬼
236 x (30) x 4 081

なお、発掘調査報告書『小敷田遺跡』の体裁と入手方法については左記のとおり。

B5判（三分冊）本文計七八七頁 図版計三〇四枚

付図一枚

頒価六〇〇〇円・送料九三〇円

申込先 〒三三三〇 埼玉県大宮市東大成二一五五七一五

（財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団大宮整理室内

埼玉考古学会 宛

TEL 〇四八―六五二―二二三―